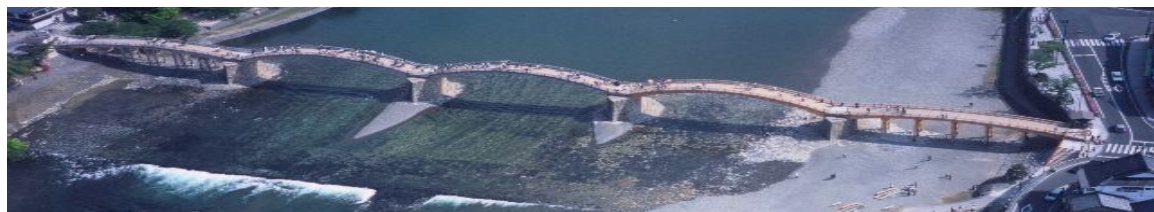




YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学



山口大学大学院理工学研究科 安全環境研究センター セミナー

山口県の橋梁を考える(9)

～市町が管理する橋梁の長寿命化計画実施例～

日時：1月23日(金)13時から

場所：山口大学常盤工業会館2階会議室 (山口大学工学部前)



写真提供：山口県下関土木建築事務所

【主催】

山口大学 大学院理工学研究科 安全環境研究センター

〒755-8611 宇部市常盤台2-16-1, TEL:0836-85-9530, miya818@yamaguchi-u.ac.jp

山口県 土木建築部道路整備課 市町道班

〒753-8501 山口市滝町1番1号, TEL:(083)933-3690, tatewaki.kengo@pref.yamaguchi.lg.jp



山口県の橋梁を考える(9)

～市町が管理する橋梁の長寿命化計画実施例～

山口県は三方を海に囲まれ、約 1,500km の海岸線を有します。また、中国山脈によって山陽側と山陰側に分断されており、気象特性などに大きな地域差が見られる上に、平地が乏しく地形が錯綜して急傾斜地が多い特徴があります。このような地理的特徴を有する山口県では、現在約 3,500 橋の管理橋梁のほかに 13 市、6 町の市町管理の中小スパン橋梁を含めると、実に 14,000 橋に上る膨大な量の橋梁ストックが整備されてきています。現在、山口県と各市町が連携してこれらの既存橋梁の長寿命化のための計画的維持管理を、定期点検データや詳細調査データを得ることにより実施しようとしています。しかし、地理条件、気象条件の異なる各市町間の橋梁点検に関する取組みや健全度評価、補修・補強方法などに関する情報交換が十分とは言えない状況がみられ、将来同じような不具合・失敗例が繰り返されることが懸念されます。

そこで、山口県土木建築部道路整備課と山口大学安全環境研究センターとが共同して、県内各市町間や先進的な他府県の例などに学ぶなど継続的な情報交換の場として、一昨年、昨年度 (H23, H24, H25 年度) に引続いて第 9 回目のセミナー (H26 年度 2 回目) を計画しました。第 9 回目となる本セミナーでは、これまで鋭意実施してきた官学共同研究の内、道路舗装路面簡易評価システム (IPPO-CAMPO) の開発から実用化までの具体例を紹介してもらおうとともに、その適用例として、山口県が管理する道路網での評価事例、効果などを詳細に紹介してもらいます。また、引き続き、県内の代表的な市町での橋梁長寿命化計画策定後の具体的な実施例を含めた、評価・検証、見直し (PDCA) 過程の独自の考え方を具体的に紹介してもらいます。このような県内の既存橋梁の長寿命化計画とその実施、検証を通じた安全で安心な地域作りを目指して、セミナーを企画しましたのでご案内します。ご多忙のことと存じますが、是非とも多数の関係者の方にご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

報告会のスケジュール

(敬称略)

時間	内容
13:00~13:10	開会
13:10~14:00	基調講演 1: 「官学共同研究成果の実用化例～舗装路面簡易評価システム開発とその後の展開～」 (50min) 三井共同建設コンサルタント(株) 技術統括 (工学博士) 吉武 俊章氏
14:00~14:50	基調講演 2: 「山口県管理道路における舗装路面簡易評価システム (Ippo-Campo) の適用事例 (仮題)」 (50min) 山口県土木建築部 道路整備課 (工学博士) 安村 成史氏
14:50~15:10	休憩(20min)
15:10~15:45	山口市の橋梁長寿命化修繕計画について(35min) 山口市 都市整備部道路河川管理課 粟畑 有司氏
15:45~16:20	周南市の橋梁長寿命化修繕計画について(35min) 周南市 建設部道路課 今井 努氏
16:20~16:30	閉会
17:00~19:00	意見交換会 (総合研究棟 8 階「ラウンジ」)